

第 39 回 QK 杯校内放送コンクール兼 第 32 回新潟県高校放送コンクール

朗読部門指定課題作品

1. 森 鷗外 「山椒大夫」 角川文庫 新潮文庫 岩波文庫
2. 野坂昭如 「しぶとく生きる」 毎日新聞社
3. 新潟県にかかわりのある作家・作品から。

ただし、昨年の指定作品及び、出場者が以前に参加した大会で扱った作品は除外すること。新潟県との関わりの説明を、簡単に提出原稿表紙の指定欄に記入すること。

野坂昭如：旧制新潟高等学校（現新潟大学）在籍

QK 杯参加規程（抜粋）

1. アナウンス部門

(1) 原則として、郷土（新潟県）の話題を高校生に伝える内容の自作原稿とし、エントリー番号、学校名、氏名も含めて、1分10秒～1分30秒でアナウンスします。

* 来年度全国高校総合文化祭のテーマに沿いましたが、万一、他原稿で入賞して全国大会に推薦された場合は、新たにテーマに合った原稿による出場をお願いすることになります。

- ・ J P E G形式のデジタル静止画像（5コマ以内）の投映が可能です。
- ・ その場合の画像サイズは、1366×768 ピクセルです。
- ・ B G Mは使用不可です。
- ・ Q K杯でもできるだけ、画像使用の方向でご検討ください。

(2) 当日、課題原稿が提示されるので、自作原稿に続いてアナウンスしてください。

2. 朗読部門

(1) 指定作品（3作品）の中から1作品を選び、エントリー番号、学校名、氏名、作者名および作品名を含めて、1分30秒～2分で朗読します。

(2) 原作文の脚色・変更は認めず、原文通り抽出し、文頭から開始して文末で終了させます。なお、本文中の（ ）内は、原則として読みますが、読み仮名は読みません。

(3) 当日、課題原稿が提示されるので、各自の原稿に続いて朗読してください。

(4) 効果音、B G Mは、Q K杯においては「使用不可」とします。

第 44 回全国高等学校総合文化祭高知大会放送部門

期日 2020年8月1日（土）8月2日（日）

会場 高知県立青少年センター（アナウンス・朗読部門）

のいちふれあいセンター（V M・A P部門）